

委員各位

第367回産業事情検討会のご案内

第367回の産業事情検討会を下記の通り開催致しますので、ご出席下さいませようご案内申し上げます。なお、出席の有無を同封の葉書・FAX用紙にてご連絡頂きますようお願い申し上げます。

記

テーマ: 日本のモノづくりが消える日

■講師: 井上久男氏
ジャーナリスト

■司会: 篠崎太郎
株式会社現代経営技術研究所 主任研究員

●日時: 2018年5月31日(金) 16:00~18:00

●会場: 東京国際フォーラム

井上久男氏は、日本のものづくり現場が①生産技術の競争優位の喪失②ガバナンスの劣化③旧弊たる人づくりを要因として、早晚、世界で戦えなくなると警鐘を鳴らしています。

氏は、中国の製造現場を歩き、日本のものづくり現場の競争優位を支えていた生産技術が、もはや中国企業に太刀打ちできなくなっている現状をつぶさに取材しています。工作機械の活用ノウハウ、ロボット導入コンセプト、無人化・自動化への取組み、IT・データ活用等のどれをとっても中国の生産技術は日本を凌駕しています。

日本の製造業で次々と明らかになっている無資格検査、データ改ざん等の品質関連不正。その根本には経営と現場との間で広がる距離とその中で醸成された付度の体質、もの言えぬ沈滞した空気があり、この風土が企業のガバナンスを劣化させ、ものづくりの現場力を弱めていると氏は指摘します。

「自動車会社が消える日」(文春新書)「日産 VS ゴーン」(文春新書)等の話題作を執筆する一方で、井上久男氏は「トヨタ 愚直なる人づくり」(ダイヤモンド社)の著者であり、シリコンバレーの新しい技術者教育を最前線で取材するなど人材育成への知見と洞察に富むジャーナリストです。そういう氏の眼から見て日本の開発、製造、営業の現場は、人づくりにおいても、どんどん新しい挑戦を現場にさせている中国にかなわなくなっています。

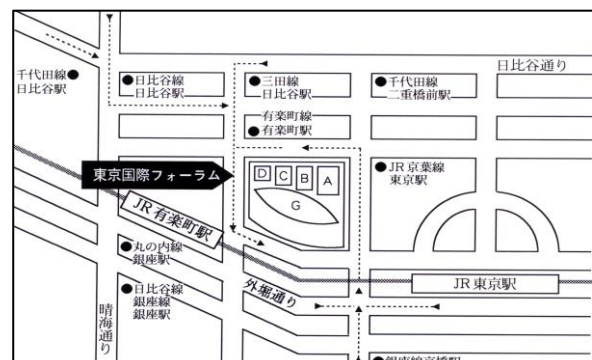
氏を囲んで、中国の製造現場・生産技術の最新事情、ガバナンス問題の核心、ものづくり現場の新たな活性化への提言等をうかがいながら、日本のモノづくりを新時代へ適応・進化させていく展望と方策を検討します。

<会場案内>

■東京国際フォーラム
東京都千代田区丸の内3-5-1
電話: 03-5221-9040

アクセス:

- JR「東京」駅より徒歩5分
- JR「有楽町」駅より徒歩1分
- 地下鉄「有楽町」駅より徒歩1分
(地下1階コンコースにて連絡)



現研 株式会社現代経営技術研究所

〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-17 ICNビル Tel03-3813-7338 Fax03-3813-6964 URL <http://www.gen-ken.co.jp>